

笑顔と元気あふれる住みよいまち田布施

たぶせ

THE TABUSE ASSEMBLY NEWS



議会だより

第134号

題字は岸 信介先生書

2017年(平成29年) 7月21日

発行/〒742-1592 山口県田布施町大字下田布施 田布施町議会 ☎ 0820(52)5800 FAX 0820(52)5970

編集/議会広報広聴調査委員会 印刷/キッショウ株式会社 <http://www.town.tabuse.lg.jp/> E-mail: gikaijimukyoku@town.tabuse.yamaguchi.jp



馬島で遊ぼう(地引網体験)

6月24日に、町子連の「馬島で遊ぼう」地引き網体験などに約80人の親子が参加しました。漁協の皆さんの協力によりたくさんの魚が獲れ、子どもたちも貴重な体験をしました。

6月定例会	2
委員会レポート 総務文教・経済厚生両委員会	3
一般質問 7人の議員が町政を問う	4
モニターによる「議会だより 133号」を読んでの感想	11



▲携帯で簡単に議会のホームページにアクセスできます

6 月定例会

一般会計予算 1452 万円 増額補正

農業委員会制度改正 農地利用最適化推進委員を新設



本 会 議 (6 月 12 日)

平成 29 年 6 月定例会は 6 月 12 日から 9 日間の日程で開かれました。
本定例会では町長報告 2 件及び専決処分 4 件、補正予算 1 件、条例 3 件、人事 1 件を審議しました。なお、初日の本会議では 7 人の議員が一般質問で登壇し、町政を質しました。(P 4 から掲載)

町長報告

○繰越明許費(一般会計)

4 事業 933 万 7 千 5 百円

○繰越明許費

(下水道事業特別会計)

2 事業 399 万 8 千 7 百円

町長提出議案

専決処分

28 年度一般会計補正予算

下水道事業特別会計に
歳入不足が生じたため、一
般会計から繰出金を増額補
正したものです。

【全員賛成】

28 年度下水道事業特別

会計補正予算

起債対象外経費の増額に
よる町債の減額分を補うた
め、一般会計からの繰入金
を増額補正したものです。

【全員賛成】

田布施町税条例の改正

地方税法等の改正に伴う
ものです。

(主な内容)

個人住民税

・優良住宅造成のために土
地等を譲渡した場合の長期
譲渡所得課税特例を平成
32 年度まで延長

軽自動車税

・エコカー減税の対象を重

点化の上 2 年間延長。
【全員賛成】

都市計画税条例の改正

地方税法等の改正に伴う
改正です。
【全員賛成】

29 年度一般会計補正予算

歳入歳出とも 1452 万
4 千円増額し、総額 59 億 1
652 万 4 千円とするもの
です。

主な歳入

地方創生推進交付金(国)

75 万円

障がい福祉サービスのシ
テム改修補助金(国)

148 万 7 千円

地域子ども子育て支援事業
補助金(国・県それぞれ)

150 万 1 千円

町債

(庁舎耐震補強等事業)

370 万円

主な歳出

庁舎耐震化調査等委託料

660 万 5 千円

農水産物ブランド化推進事
業費の増額

150 万円

障がい福祉サービスのシ
テム改修

148 万 8 千円

児童クラブ・保育園の施設
や社会保険料等経費の増額

286 万円

【全員賛成】

条 例

田布施町農業委員会の委
員及び農地利用最適化推
進委員の定数を定める条例
田布施町報酬及び費用弁償
条例の一部を改正する条例

農業委員会等に関する
法律の改正に伴い、委員選
出方法の見直しや農地利用
最適化推進委員の新設を定
めた上、農業委員・推進委
員の定数をそれぞれ 7 名とし、
推進委員の報酬を農業委員
の報酬と同額とするもので
す。
【全員賛成】

田布施町地域包括支援セン
ターの人員及び運営等に関
する基準を定める条例の一
部を改正する条例

主任介護支援専門員の更
新要件について、制度の明
確化を図る改正によるもの
です。
【全員賛成】

人 事

町固定資産評価審査委員
会委員の選任

町固定資産評価審査委
員会委員の寺田真理子氏の
任期満了に伴い、引き続き
同氏を選任するものです。
【全員賛成】

経済厚生



経済厚生委員会 (6月14日)

経済厚生委員会を6月14日に開き、専決処分(予算)2件、29年度一般会計補正予算1件、条例関係1件を予備審査。条例2件及び陳情1件を審査しました。(視察レポートは10ページに掲載)

専決処分

28年度一般会計補正予算
Q 下水道会計に専決で繰出しする補正は今回だけか
A 急ぎよ起債対象外となった事業のため、今回だけ。【全員賛成】

28年度下水道事業特別会計補正予算
【全員賛成】

予算

29年度一般会計補正予算

道路橋梁費

Q 土地購入費を減額したが後回しになっても買わないといけないのでは。
A 補助の内示が低く、今年買えそうにないので落とした。

児童福祉費

Q 児童クラブ、いくらの工事業に対する設計委託料か。
A 空調とトイレなどの設計金額を出すための委託料。

Q 児童クラブの空調借上。購入の方が安いのでは。
A 業務用空調は高額。定期的に間に合わない。【全員賛成】

総務文教



総務文教委員会 (6月16日)

総務文教委員会を6月16日に開き、専決処分(予算・事例)3件、29年度一般会計補正予算、条例関係1件を審査しました。

専決処分

28年度一般会計補正予算
Q 繰出せず下水道会計内で調整できないか。
A 金額が大きいのでできない。【全員賛成】

税条例の改正
Q 軽自動車税グリーン化特例は乗用、貨物の両方か。
A 両方である。但し、1

29年度一般会計補正予算
Q 広島イベントは。
A 旧市民球場跡で、牡蠣、イチゴを出店し、100万円売り上げた。

予算

29年度一般会計補正予算
Q 広島イベントは。
A 旧市民球場跡で、牡蠣、イチゴを出店し、100万円売り上げた。

都市計画税条例の改正

【全員賛成】

条例関係

報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例
Q 農地利用最適化推進委員は何人か。
A 7人。

条例関係

農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数条例
Q 多数の公募等があった場合に選任する評価委員は誰か。
A 副町長や関係課長等。
Q 推進員の区割りはどうか。
A 町内7地区に区割りしている。

報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例
Q 歳出額は変わらないか。
A 変わらない。【全員賛成】

総務文教視察レポート

光地区消防組合の消防本部を視察しました

7月3日に光市の消防本部へ視察に行きました。

4月1日より「高機能消防司令センター」を更新し、通報から活動完了まで一元管理されています。



消防本部 指令室を視察



地域包括支援センターの人員・運営等に関する基準を定める条例の一部改正条例
【全員賛成】

陳情

放課後児童の保育に関する条例に関する陳情
【継続審査】

視察ではたぶせ苑から固定電話と携帯電話で119番して位置情報の違いをデモ体験しました。固定電話で電話すると一瞬でモニターに位置が表示されましたが、携帯では1分程度かかりました。GPS位置情報の解析に時間を要するためです。また、今までと比べ、新システムでは災害種別が決定されると予告指令が自動で行われ、通報から短時間で出動指令が出されます。

119番通報をする時は落ち着いて住所と災害種別を電話すると良いです。



6 月定例会
一般質問

7 人の議員が町政の課題を問う

一般質問

一般質問は、町政全般について、町長など執行機関の考え方や方針を問いただすものです。ここでは紙面の都合上、質疑の中から内容の一部要旨を掲載しています。

オラレ田布施

無料巡回バス等出せないか

河内 賀寿

考えはない

長信町長



河内 賀寿 議員

Q ポートレースチケットショップオラレ田布施は現在絶好調で、土日の駐車場はほぼ満車である。車が止めにくいで無料巡回バス等出せないか。バスは無理でもタクシー

ー優待券等サービス向上案を考えてはどうか。もちろん周南市と話し合いで決めることだと思っが。



オラレ田布施オープン

A 駐車場の問題は、当初から懸念されたことではある。無料巡回バスは全国的に見ると、オラレ下関が J R 片道無料サービスをを行っているぐらいで、他にはやっていない。よって、町も周南市も考えていない。タクシー優待券のサービスも同じく考えていない。

弾道ミサイル落下時の行動

回覧の反響は 河内

特に反響はない 町長

Q 5 月の回覧「弾道ミサイル落下時の行動について」の反響はあったか。阿武町のような住民避難訓練をする予定はあるか。実際は、ほぼ 100 % 迎撃できる二段構えのミサイルシステムを国は持っている。気を引き締めることも大事だが、国の国防努力の回覧もしてはどうか。

A 「弾道ミサイル落下時の行動について」回覧の反響は特にない。6 月 4 日の阿武町の訓練日には、本町も県との情報伝達訓練を実施した。現在、具体的な住民避難訓練の考えはない。国から、ミサイル防衛の現状の周知要請があれば回覧もするが、情報サイトなどで対応されるべき。



弾道ミサイル回覧

農業委員会

新制度について

西本 篤史

平成30年3月から施行

長信町長



西本 篤史 議員

Q 農業委員会新制度の概要は。「農地等の利用の最適化の推進」、農業委員の選出方法が公選制から「町長の任命制」、農地利用最適化推進委員の新設とある。特に推進委員の担い手への農地集積、集約化はどんな方法か、耕作放棄地の発生防止は出来るのか質問する。

A 推進委員の農地の集積・集約化については農地中間管理機構と連携して人と農地のマッチングを進めていく。また、耕作放棄地発生防止については、利用意向調査により意向を確認する。国営緊急農地再編整備事業地区において人・農地プランを作成する。

農業委員会新制度

1. 「農地等の利用の最適化の推進」が重点業務に

①担い手への農地集積・集約 ②耕作放棄地の発生防止・解消 ③新規参入の促進

2. 農業委員の選出方法が公選制から「町長の任命制」に

①原則、認定農業者が過半を占めること②農業者以外の者で中立的な立場の者が1人以上いること③女性や青年の登用に配慮すること

3. 農地利用最適化推進委員の新設

各地域において農地利用の最適化を推進する「農地利用最適化推進委員」を新設
農業委員会は、地域の農業者や農業団体に候補者の推薦を求め、同時に公募も行い、区域ごとに農地利用最適化推進委員を委嘱します。委員会としての決定行為、地域での活動というそれぞれの役割を担い、農業委員と最適化推進委員が協力・連携して農業委員会活動を行います。



農業委員会

増える発達障害児

対策はしているか 西本

関係機関と連携している

尾崎教育長

田布施町内の発達障害児の対応

未就学児を対象

専門員が日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応訓練、地域コーディネーターなどが連携して幼稚園や保育園の巡回訪問、保健センターで実施する家庭訪問等

就学後の児童を対象

生活能力の向上のために必要となる訓練、コミュニケーション能力の向上につながるような支援等

発達障害のある児童生徒への対応

麻郷小に自閉症情緒学級、田布施西小に知的学級と自閉症情緒学級、東田布施小に知的学級と自閉症情緒学級及び難聴学級、城南小に病弱学級、田布施中に知的学級と自閉症情緒学級を設置

麻郷小と田布施中には通級指導教室、幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携による「幼保小中連携会議」、各小学校には教員補助者を配置

保護者が相談できる窓口

学校教育課に指導主事を配置、各学校には校内コーディネーターを配置、町保健センターが実施している5歳児発達相談と連携した就学相談会

Q 近年、特別支援学校や特別支援学級の在籍者と通級指導を受けている児童生徒が増加。
・学校の発達障害児の対応出来ているか。
・保護者が相談する窓口はあるか。
・早期発見した時の地域支援体制の確立は出来ているか。

A 「幼保小中連携会議」を中心とした一貫性のある教育の推進。学校教育課に指導主事、各学校には校内コーディネーターを配置し、保護者等からの相談窓口も担っている。早期発見した時の地域支援体制については年齢に合わせた通所型のサービスにより支援。

地方債計画

今後の償還額の推移は

松田規久夫

国の計画を考慮し予算化

長信町長



松田規久夫 議員

Q町広報、議会だよりで、借金としての地方債（町債）の総額は110億円で、一般会計、特別会計とも示され住民は承知している。今後の償還額や借入先、金利などは知らされていない。残額を約定通り償還すればどのようになるのか。町のホームページでの明示は。

A翌年度の起債額は国の地方債計画を考慮し予算計上する。翌々年度以降の起債額は国の動向次第で明確にできない。一般会計の償還額は平成20年度が8億円で以降減少。財政健全化のため利率の低い借換債や繰上償還で対応。ホームページ掲載の考えはない。

償還計画表（27年度借入分まで）

償還計画表(27年度借入分まで)							→5年度ごと					(単位:千円)	
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	38年度	43年度	48年度	53年度	58年度	
一般会計	償還元金	666,334	625,852	603,655	559,852	522,036	497,607	270,568	115,458	15,415	0	0	
	償還利子	83,437	70,585	60,939	52,032	44,116	37,133	12,748	3,218	262	0	0	
	計	749,771	696,437	664,594	611,884	566,152	534,740	283,316	118,676	15,677	0	0	
特別会計(下水)	償還元金	360,989	361,139	363,196	365,268	374,078	372,571	245,041	134,606	50,034	27,526	524	
	償還利子	99,048	90,263	82,262	74,175	65,913	57,521	25,105	10,779	3,495	869	2	
	計	460,037	451,402	445,458	439,443	439,991	430,092	270,146	145,385	53,529	28,395	526	
合計		1,209,808	1,147,839	1,110,052	1,051,327	1,006,143	964,832	553,462	264,061	69,206	28,395	526	

※27年度までに借入れた町債の今後の償還予定表です（ただし、特別会計（下水）には、繰り越しによる28年度借入分が含まれています。）。なお、利率見直しは考慮せず、償還終了まで当初の借入の利率としています。

※28年度（一般会計）には、繰上償還額30,000千円が含まれています。

水素利活用

周南市との研究は 松 田

実証事業後の報告で 町 長

Q山口県は「水素先進県」の実現に向け、水素利活用による産業振興と地域づくりを促進している。次世代産業育成プロジェクトで、田布施町も取り組むべき。下水道処理施設に「逆電気透析原理を利用した水素製造システム」の周南市との研究を提案する。

A周南市は東部浄化センターを試験場に提供している。実証事業終了後に国、県から報告があるだろう。田布施川流域下水道浄化センターは町で管理運営をしていない。水素はクリーンなエネルギーとして理解しているが、直接に町が水素利活用することにはならない。

社会貢献や社会参加

学校における活動は

松 田

有効な教育活動の一つ 尾崎教育長

Q自分でなんとかする「自助」、行政の「公助」では足りず、寄付やボランティアなどの社会貢献を通じた「共助」の活動が必要。社会貢献や社会参加の原体験が良ければ、一生社会貢献に前向きになる。義務教育の社

会貢献や社会参加活動の取り組みは。

A小中学生の社会貢献や社会参加は、学校を核として地域住民の参画を促進しながら、地域の特色を生かした教育や地域課題解決型の教育を展開す



中学生のボランティア活動

るための有効な教育活動の一つである。地域への愛着や誇りを育み、地域の未来を切り拓く人材を育てていく。

町営住宅の供給

民間住宅を活用しては

瀬石 公夫

幅広く検討

長信町長



瀬石 公夫 議員

Q 町営住宅の建替計画や用途廃止、募集停止の団地が多く在り、こうした団地では歯抜け状態に空き家となっている。
従前入居者に転居して頂く場合など機動的に対応でき、各世帯のニーズに対応できる民間住宅を活用した借上方式により町営住宅を供給しては。



募集停止で空き家が目立つ町営住宅

A 民間住宅を活用した町営住宅の供給を、公営住宅検討プロジェクトを立ち上げて検討している。
借上方式は建設費が不要な点はメリットとなるが収支はマイナスに累積し、直接建設より支出が多くなる。将来の公営住宅のあり方や管理について幅広く検討していく。

土砂災害特別警戒区域

固定資産税の減額を

瀬石

減価補正率 70%を適用

町長

Q 土砂災害特別警戒区域の指定は、家を建て替える際や、新築・増改築などの場合は、建築物の構造規制の対象となる。売買にあつては、指定にあることを相手方へ説明する必要がある。指定により資産価値の低下が発生すると考えられ、固定資産税の減額が必要では。

A 土地の利用制限等が土地の価格に影響を与える場合は、土地評価の適切な補正を行なうこととされている。
このため、来年度から、土砂災害特別警戒区域内の宅地及び宅地に準ずる土地について、評価額に対して減価補正率 70%を適用する。



平成 21 年 7 月 21 日に発生した防府市の土石流災害



山口県 土木建築部 砂防課



土砂災害特別警戒区域パンフレット

田布施町庁舎建設計画

具体的な計画は

石田 修一

来年度当初予算計上する

長信町長



石田 修一 議員

Q 庁舎問題等調査研究委員会は昨年12月議会の最終報告として、財政状況を考慮して、現庁舎の耐震化を進めることを提言した。設計業者が提出した耐震化補強（案）で実行する考えか。南海地震はいつ起きてもおかしくない状況にあるが具体的な計画はできているか。

A 庁舎耐震補強（案）について、現在、地質調査等を行い、耐震補強評価書取得を行っている。7月下旬ころには評価委員会の意見を含めた、耐震補強設計（案）が具体化する。来年1月には実施計画案や費用概算を固め、平成30年度当初予算に工事費用を計上する。



庁舎 改修後イメージ図

公共施設管理計画と財政との整合性

具体策は

石田

今後の活用に向け検討 町長

Q 本町の公共施設管理計画では、過去に建設された公共施設が今後大量に更新時期を迎える。すべての更新に必要な財源を確保することは、現状では困難である。資産総額の大幅な削減を図る必要

A 毎年の実施計画ヒヤリング時に公共施設管理計画の基本方針を念頭に置き財政計画に反映する。がある。そのためには、行政と民間で協力の推進が必要。具体策を尋ねる。

田布施町営住宅の現況と計画

町長の考えは 石田

調査研究をすすめている

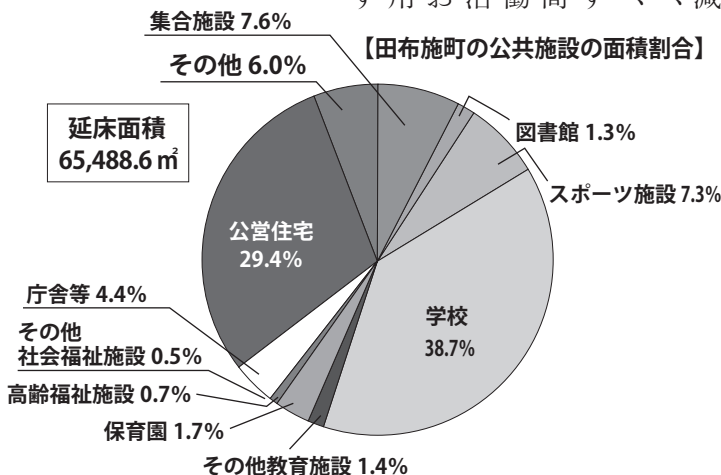
町長

Q 平成19年の第5次総合計画に基づき10年間の町営住宅年次計画を策定された12団地の事業計画が示されたが、大幅に変更されている。変更説明はない。その根拠は、公共施設管理計画との整合性を考えた時、町営住宅は縮小すべきと考えるが、町長の考えを尋ねる。

A 平成25年度に国の指導で長寿命化に視点をあてた計画に変更したが議会に説明はしていない。本年3月議会で計画の概要を説明。現在公営住宅検討プロジェクトで調査研究を進めている。またより次第整備計画を策定し報告する。現在の計画でも100戸程度縮小する。

資産数量の消滅として、複合化、集約化、廃止、統合等を検討する。また、民間事業者との協働を推進する自治体が増加しており、今後の活用に向けて検討する。

【田布施町の公共施設の面積割合】



地域振興

馬島の今後の振興は

國本 悦郎

観光地・体験の場として活用

長信町長
尾崎教育長

國本 悦郎 議員

Q 馬島の人口減と高齢化が進む中、将来を見据えて今後の振興について考える時、観光資源は沢山あるが、人的資源が将来にわたって地元自治会だけで賄えるか。

のんびらんど、元エビ養殖場、渡船の運用など、今後の馬島の振興策を問う。



馬島の体験活動

A のんびらんどうましまは、高い評価を受け、利用者が絶えない。引き続き指定管理を地元自治会にお願いしたい。

元エビ養殖場は近年活用していないのが現状だ。渡船業務の運用は熊南総合事務組合で検討する。馬島で教育活動や教職員研修等を進めたい。

高齢者支援

買い物バスのシステム改定を

國 本

協議会で協議する 町 長

Q 高齢者の買い物弱者に対する支援として、買い物バスが導入されて何年か経つが、周辺地区の年金者の経済的負担は大きい。また、利便性を考えると高齢者の免許証返納も進んでいない。

買い物弱者が利用しやすいシステム改定はできないか。

A 買い物バスの利用者は各地区いづれも微増で推移している。町の買い物バスへの補助額は、50万円前後である。

バスの料金体制などのシステム改定は、有償運送協議会で協議したい。

免許証返納者には、本町でも支援を検討中である。



買い物バス

武力攻撃災害

ミサイル攻撃やテロの対応は

竹谷 和彦

法律に基づき対処する

長信町長



竹谷 和彦 議員

【Q】北朝鮮は5月29日、今年だけで9度目となる弾道ミサイル発射を行った。平成29年5月29日、朝鮮中央通信は、日本における核ミサイル攻撃の標的になり得るのは、在日米軍基地ばかりではないと声明を伝えた。ミサイル攻撃やテロ等に対する本町の対応を尋ねる。

【A】本町では平成19年1月策定の「田布施町国民保護計画」に基づき対応することとしている。6月4日に行われた阿武町の「弾道ミサイルを想定した住民避難訓練」と同日に本町でも県緊急事態連絡室との間で町内の被害状況等の情報伝達訓練を実施したところである。



阿武町の避難訓練

経済厚生視察レポート

町営住宅の状況を視察しました

4月27日に町営住宅の状況について6か所の視察を行いました。

一部住宅を除き、老朽化した住宅が多く、これらの住宅の耐久性の向上等を図る改善の実施や、建て替え等による良質な住宅ストックの形成等、必要数の確保が喫緊の課題です。

加えて住宅内の段差解消等、高齢者・障がい者の居住に配慮した整備も必要だと実感しました。



町営住宅を視察

議会広報モニター
10名委嘱

「議会だより」を1人でも多くの人に読んでいただけるようモニター制度を設けて、感想や意見をいただいております。

この度、町内5地区より10名の方々に今回発行の第134号から1年間モニターをお願いすることになりました。どうぞよろしくお願いします。

(敬称略)

永田 京子 (石の口)
高橋 正和 (城南)
梅木 靖子 (大波野上)
土谷伊津美 (大波野中)
赤野 洋二 (竹尾)
梅原 唯廣 (矢蔵)
叶 宏子 (蓮輪)
平松 恭子 (浜城)
大内久美子 (尾津東)
中坪 哲治 (中郷)

議会だより

133 号を読んでの感想です

◆お礼◆
議会広報広聴モニターの皆様にはご多忙な中にもかかわらず、毎号貴重なご意見やご感想をいただき厚くお礼申し上げます。

住みたくなる町

永田 京子

元気に明るく笑って卒業していく中学生の写真の表紙。小学校、中学校と同じ学舎で過ごした仲間と別れてそれぞれの道へ進んでいく。そして彼等が大きく成長して何人がこの町で生活するのでしょうか。その為には住みたくなる、帰りたい、魅力ある町づくりが必要だと思います。波野北住宅建替が審議されているようですが、若い人たちが住みたくなる住環境を整える事も必要だと思います。低所得者対象の住宅も必要ですし、若い人対象の住宅も必要なのではないでしょうか。

新議員になり議会構成も新しくなりました。各委員会のお名前と写真が大きく掲載されとても見やすかったです。この新体制で 59 億円という膨大な予算を有効に生かしてより住み良い町づくりをしていただけることと期待しています。

議会が変わった

赤野 洋二

議会構成が一新しました。行動力のある清神氏が議長に就任、各委員会の顔ぶれも変わり議会活動が活性化すると期待します。3 月定例会で当初予算が審議されました。介護、後期高齢者医療費が対前年 5 千万円増で全体の増額費の 38% を占め当事者としては申し訳ない気持ちです。波野北住宅建築事業に関して討論されていました。「自治体の責務であり解決すべき案件」として推進する、との意向に対し、議員提出議案で執行を留保するとの決議がなされ歯止めがなされました。議会は変わった。



質疑の中で、図書館の新刊購入に 3 百万円計上されていました。どんな素敵な本が購入されるのか楽しみです。

町政への意識高揚

梅木 靖子

議会だよりモニターを引き受けて、今までとは違って 133 号を入念に読ませていただきました。先ず、表紙の田布施中学校の卒業式、遠い将来彼等、若者が町政を担っていくことに想像をはせると頼もしさを感じました。選挙権が 18 才から与えられるようになりましたが、若者にどれだけ関心があるだろうかとも思いました。

次に、3 月の定例会で 6 人の議員が町政の課題を問うていましたが、関心をいだきつつも十分に理解しづらい内容もあり、又、私にとつて関心の薄い課題もありました。町民一人一人に町政について意識高揚を図るのに良い方法だと思えます。とにかく議員任せの要望ばかりになりがちです、終わりのページに「傍聴してみませんか」のタイトルを見て、議会を傍聴して町政に関心を持ちたいと思いました。

議会の討論を傍聴して

加治 康子

本会議最終日の 3 月 23 日、29 年度一般会計当初予算に対する討論と、その付帯決議に対する討論を傍聴させていただきました。

主として、波野北町営住宅建替事業に関する内容でしたが、各議員さん夫々に、広く、深く田布施町の実状を把握しておられ、厳しい財政の中にあっても、町民の明るい未来が約束されるような地道な事業化を図ろうとする気概が感じられました。

議会における討論は、普通のディスカッションと違って、討論の原則がきちんと決められているので混乱がなく、理路整然としていてわかりやすく、私は、おもしろく聞かせていただきました。

興味の持てる編集を

大内 久美子

新しい議員の方々が加わって、編集後記を読ませていただくと「議会だより」の編集に対する思いが伝わり、今後の広報誌が楽しみになりました。議事報告が多くなる紙面の中、今回、目を引いたのは、本会議での討論を掲載した内容です。発言をされた方々の考えがよくわかり、率直に面白かったです。また一般質問では、今までの回答の多くが「検討する。模索する。」等、結果の見えない文末に、読む意欲が失せていました。しかし今回は、そのような文末で終わる内容は少なく、回答者が、町政をどのように進めていこうと考えているのかわかり、とてもよかったです。傍聴記は、実際に傍聴された町民の方々の生の声ですから、興味がわきました。限られた文字数ではありますが、実のある編集をお願いしたいものです。

花でうるおう町に



國 本 悦 郎

私は四季折々に咲く花でうるおう町にしたいという夢を持っている。

現役の時に、種から花を育てたり、挿し木で花を増やしたりすることがどうにかできるようなったので、今はそれを駆使しながら駅前プランターや花壇、荒れ地を開墾して公園化したり、雑草だ

らけの公園の整備も進めている。

それに加え、一年からは、整備している公園にフジバカマを挿し木で増やし、アサギマダラを呼ぶ活動もしている。

また、花菖蒲を株分けしては、その苗を何度か無償配布したりしているの、お入用の方はお声を掛けて下さい。

馬島で遊ぼう



西 本 篤 史

田布施には島が二つある馬島と勿島だ。私が中学生の頃よく釣りに行ったものだ。

今回、町子連で地引き網を行った。昨年も行いう予定であったが大雨で中止となり今回ようやく実現した。地引き網は私も初めてだ。80人定員で募集したが104人の応募があり先着順とした。

会場は馬島と勿島の間の砂浜。まず2グループに分かれ網を引いていく。

だんだん近づいて来ると魚が見えてきた。小鮫、イカ、チヌ、メバル、アジなど沢山捕れた。子どもたちは大喜びで魚を捕まえた。また、勿島一周、磯遊びで大いに遊んだ。馬島って楽しいな。

議員リレー随筆

議会を傍聴してみませんか

町議会は、定例会（3月、6月、9月、12月）と必要がある場合に開かれる臨時会があります。

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。身近な町政を知るため、また、議員の活動や町議会の様子を知らするためにも、議会を傍聴してみませんか。

なお、本会議での傍聴席は30席設けています。

【問合せ先】

議会事務局
☎（52・5800）

9月定例会の日程(予定)

11日	本会議（初日） （一般質問）
13日	決算審査特別委員会
15日	経済厚生委員会
20日	総務文教委員会
22日	本会議（最終日）

※いずれも午前9時から
※正式には9月5日の議会運営委員会が決定されますので、ご確認下さい。

田布施町名誉町民
吹田 悞氏 逝去

初代田布施町長であり、元県議会議長、元衆議院議員で、自治大臣、国家公安委員長を務められ、平成27年11月に名誉町民に推戴された吹田悞氏が、6月19日逝去されました。

突然の訃報に接し、町議会では、本会議最終日の冒頭、氏の遺徳を偲び、ご冥福をお祈りするため黙とうを捧げました。

編集後記

6月のニュースで一番面白い話題は、将棋の藤井聡太四段の公式戦29連勝だったと思う。まだ中学生3年生の大記録は、すごい一言。同じ全国ニュースで流れたものでも反対の暗い話題のトップは本町としては、吹田悞氏の訃報。立て板に水と言われた流ちょうなスピーチや、数々のエピソードは多くの町民の想い出にいつまでも残る人だった。

私が中学生の時、聞いたスピーチは、わかりやすく聞く者を飽きさせないものであった。最近の町制60周年記念のスピーチも、年齢の衰えを全く感じさせない素晴らしいものであったと思う。

そして、議会全員賛成で決定した名誉町民への推戴も大変喜ばれていたことが印象深い。謹んでご冥福をお祈りいたします。

（河内賀寿）